

12. 社会資本

(1) 道路の現況

最上地域においては、国管理道路として一般国道 13 号と一般国道 47 号が東西南北の十字軸を形成し、これら路線は東北中央自動車道及び新庄酒田道路の供用中区間とともに平成 31 年 4 月 1 日に重要物流道路（ネットワーク路線）として指定された。また、県管理国道として金山町から真室川町を經由し酒田市に至る一般国道 344 号と新庄市から鮭川村、大蔵村を經由し寒河江市に至る一般国道 458 号が道路網の骨格を形成している。そして、これらの骨格路線から分岐して、38 路線の県道路網が管内市町村へ放射状に延びている。

○高規格幹線道路「東北中央自動車道」

- ・尾花沢新庄道路（18.2km）は尾花沢市尾花沢から新庄市松本に至る路線で、平成 26 年 11 月 16 日に尾花沢 IC から野黒沢 IC までの 4.0km 区間が開通し全線開通している。
- ・新庄北道路（4.7km）は尾花沢新庄道路の終点である新庄市松本から新庄市十日町に至る路線で、平成 23 年 3 月 26 日に全線開通している。
- ・泉田道路（8.2km）は新庄北道路の終点である新庄市十日町から新庄市昭和に至る路線で、平成 24 年度から事業に取り組んでいる。令和 4 年度に開通が予定されている。
- ・新庄金山道路（5.8km）は泉田道路の終点である新庄市昭和から金山町朴山に至る路線で、平成 27 年度から事業に取り組んでいる。令和 7 年度に開通が予定されている。
- ・金山道路（3.5km）は新庄金山道路の終点である金山町朴山から金山町飛ノ森に至る路線で、平成 30 年度から事業に取り組んでいる。
- ・主寝坂道路（9.9km）は金山町飛ノ森から真室川町及位に至る路線で、平成 20 年 3 月 30 日に全線開通している。
- ・真室川雄勝道路（7.2kmのうち県内 3.0km）は主寝坂道路の終点である真室川町及位から院内道路（秋田県内）に至る路線で、平成 29 年度から事業に取り組んでいる。
- ・金山道路が平成 30 年度に事業化されたことで、福島県相馬市から秋田県横手市までをつなぐ東北中央自動車道の全線で整備が行われている。

○地域高規格道路

- ① 新庄酒田道路（約 50km）
 - ・新庄南バイパス（4.0km）は新庄市鳥越から新庄市本合海に至る路線で、平成 14 年 5 月 25 日に全線開通している。
 - ・新庄古口道路（10.6km）は、新庄南バイパスの終点新庄市本合海から戸沢村古口に至る路線で、平成 17 年度に事業着手している。平成 27 年 11 月 8 日に新庄市本合海から新庄市升形間（2.4km）、平成 30 年 7 月 15 日に戸沢村津谷から戸沢村古口間（2.2km）がそれぞれ開通している。
 - ・高屋防災（4.4km）は新庄古口道路の終点から高屋道路の起点に至る路線で、令和 2 年度から事業に取り組んでいる。
 - ・高屋道路（3.4km）は戸沢村古口地内に位置し、平成 18 年度から事業に取り組んでいる。令和 6 年度に開通が予定されている。
 - ・戸沢伏川道路（5.8km）は戸沢村古口から庄内町狩川に至る路線で、令和 3 年度に新規事業化された。
- ② 石巻新庄道路（約 110km（うち県内約 30km））
 - ・新庄酒田道路と連結し日本海と太平洋地域を結び、地域間の交流連携の強化を図る東西軸として、国土交通省が令和 3 年 7 月に策定した「新広域道路交通計画・ビジョン」において、調査中区間と位置付けられた。

【道路の整備状況】

令和3年4月1日現在

道路の種類	路線数	実延長 (Km)	改良済延長 (Km)	改良率 (%)	舗装済延長 (Km)	舗装率 (%)
一般国道	2	82.786	66.382	80.2	71.111	85.9
主要地方道	12	193.193	173.557	89.8	177.451	91.9
一般県道	26	194.463	152.819	78.6	168.426	86.6
最上地域	40	470.442	392.758	83.5	416.988	88.6
村山地域	113	1,059.003	952.669	90.0	992.398	93.7
置賜地域	74	710.179	628.509	88.5	641.333	90.3
庄内地域	70	854.703	796.772	93.2	805.321	94.2
山形県	297	3,094.327	2,770.708	89.5	2,856.040	92.3

注：一般国道は県管理区間延長。また、地域をまたぐ路線もあるため、路線数は単純合計とはならない。

資料：山形県県土整備部道路整備課

【高速道路の整備状況】

令和4年4月1日現在

	予定路線延長 (Km)	供用延長 (Km)	供用率 (%)
全 国※1	11,520	10,218	89%
東 北※2	1,882	1,737	92%
山 形 県※3	340	269	79%
最上(東北中央自動車道関連)※4	42	21	50%

資料：※1 旬刊高速道路（発行：全国高速道路建設協議会）「令和4年4月5日 No.1879号」による。

※2 全国高速道路建設協議会調査より山形県独自集計（令和4年4月1日現在）

※3 山形県県土整備部道路整備課高速道路整備推進室集計（村山本飯田 IC～大石田村山 IC間 4.5 km供用開始）

※4 最上総合支庁建設部建設総務課

【地域高規格道路の整備状況】

令和3年4月1日現在

	候補路線延長 (約 Km)	計画路線延長 (約 Km)	供用延長 (Km)	供用率 (%)	備 考
山 形 県※1	30	100	29	29%	
最 上 地 域※2	30	28	8.6	31%	
新庄酒田道路	—	28	8.6	31%	
石巻新庄道路	30	0	0	—	

注：供用率は、計画路線延長に対する供用延長の比率

資料：※1 山形県県土整備部道路整備課高速道路整備推進室

※2 最上総合支庁建設部建設総務課

(2) 都市計画の現況

最上地域においては、舟形町、大蔵村、鮭川村、戸沢村を除く1市3町で都市計画区域が定められ計画的な土地利用、都市整備が図られている。

都市計画道路については、地域全体で35路線が都市計画決定されており、都市生活に潤いと安らぎを与える都市公園については、地域全体で25箇所が開設されている。

【都市計画区域の状況】

令和3年3月31日現在

	最上地域	村山地域	置賜地域	庄内地域	山形県
行政区域面積 (ha)	108,911	261,939	216,583	240,528	827,961
都市計画区域面積 (ha)	10,244	53,669	19,486	41,455	124,854
行政区域に占める率 (%)	9.4	20.5	9.0	17.2	15.1
行政区域内人口 (人)	55,100	529,200	192,500	263,700	1,040,500
都市計画区域内人口 (人)	41,300	488,600	149,300	215,600	894,800
行政区域に占める率 (%)	75.0	92.3	77.6	81.8	86.0

注：県の行政区域面積及び人口は、都市計画区域が定められていない市町村を除く。
資料：「山形県の都市計画」【資料編】令和3年

【街路の整備状況】

令和3年3月31日現在

	最上地域	村山地域	置賜地域	庄内地域	山形県
都市計画延長 (m)	63,220	621,555	273,460	319,510	1,277,745
改良済延長 (m)	33,510	426,748	122,941	184,985	768,184
整備率 (%)	53.0	68.7	45.0	57.9	60.1

資料：「山形県の都市計画」【資料編】令和3年

【都市計画公園の開設状況】

令和3年3月31日現在

	最上地域	村山地域	置賜地域	庄内地域	山形県
都市計画公園開設面積 (ha)	88.89	718.16	193.64	170.53	1,171.22
1人あたりの都市計画公園面積 (㎡/人)※	21.5	14.7	13.0	7.9	13.1

※ 開設面積/都市計画区域内人口

注：主な開設済都市公園 東山公園、最上中央公園(かむてん公園)(新庄市)、真室川公園、真室川町総合運動公園(真室川町)、最上西公園(最上町)

資料：「山形県の都市計画」【資料編】令和3年

(3) 河川の現況

最上地域では、一級河川最上川水系として、奥羽山系を源とする最上小国川、泉田川と出羽山系を源とする角川、銅山川と鳥海山系を源とする鮭川があり、これらに合流する小河川を含めると、県管理の一級河川は136河川、延長645.9kmとなっている。

【河川の整備状況】

令和3年3月31日現在

	河川本数	管理延長 (Km)	整備状況		
			要整備延長 (Km)	整備済延長 (Km)	整備率 (%)
最上地域	136	645.9	403.5	203.2	50.4
村山地域	148	772.5	492.1	190.2	38.6
置賜地域	116	682.5	407.9	196.2	48.1
庄内地域	154	718.6	454.9	179.6	39.5
山形県	554	2,819.5	1,758.3	769.2	43.7

注：県管理延長

資料：山形県県土整備部河川課

(4) 砂防の現況

最上地域は、総面積 1,803 km²のうち、およそ 3/4 が山地であり、土砂災害から生命、財産を守るため、土石流危険渓流対策、急傾斜地崩壊防止対策、地すべり防止対策、雪崩対策に取り組んでいる。

【土石流危険渓流対策】

令和4年3月31日現在

	土石流危険渓流箇所数(A)	砂防指定地数(B)	整備済箇所数(C)	整備率(%) (D)
最上地域	302	379	95	31.4
村山地域	527	641	134	26.0
置賜地域	687	458	138	19.3
庄内地域	700	535	260	37.2
山形県	2,216	2,013	629	25.1

注：土石流危険渓流の整備済箇所数は土砂量換算であり、実際の整備渓流数とは直接関係しない。(C=A×D/100)
直轄分(国)も含む。

資料：山形県県土整備部砂防・災害対策課(指定地数(B)は、令和4年3月31日現在)

【地すべり防止対策】

令和4年3月31日現在

	地すべり危険箇所数(A)	地すべり防止区域数(B)	整備済箇所数(C)	整備率(%) D=C/A
最上地域	46	28	23	50.0
村山地域	92	34	22	23.9
置賜地域	52	20	14	26.9
庄内地域	40	17	13	32.5
山形県	230	99	72	31.3

注：直轄で施工した箇所は整備後に県管理となる

資料：山形県県土整備部砂防・災害対策課(区域数(B)は、令和4年3月31日現在)

【急傾斜地崩壊防止対策】

令和4年3月31日現在

	急傾斜地崩壊危険箇所数(A)	急傾斜地崩壊危険区域数(B)	整備済箇所数(C)	整備率(%) D=C/A
最上地域	309	67	62	20.1
村山地域	442	95	103	24.0
置賜地域	210	35	36	17.1
庄内地域	364	124	123	33.8
山形県	1,325	321	324	24.5

資料：山形県県土整備部砂防・災害対策課(区域数(B)は、令和4年3月31日現在)

(5) ダム事業の現況

最上地域では、県で管理するダムは3箇所である。

【ダムの整備状況】

令和4年3月31日現在

ダム名	河川名	目的	形式	有効貯水容量(千m ³)	所属	竣工
高坂ダム	鮭川	治・発	重力式コンクリート	12,750	山形県(県土整備部)	S41.12
神室ダム	金山川	治・上水・発		5,800		H5.10
最上小国川流水型ダム	最上小国川	治		2,100		R2.8

資料：山形県県土整備部河川課

(6) 公営住宅の現況

公営住宅は、国の補助を受けて建設し、住宅に困窮している低所得者に対して低廉な家賃で賃貸するもので、最上地域における管理戸数は、県営住宅2団地136戸、市町村営住宅38団地717戸、合計40団地853戸である。その他に、公営住宅法によらない市町村営の住宅が、新庄市に1団地80戸、金山町に1団地16戸、最上町に4団地20戸、舟形町に10団地29戸、真室川町に1団地12戸、大蔵村に3団地31戸、鮭川村に3団地17戸、戸沢村に3団地24戸が管理されている。

【県営住宅の管理戸数】

令和4年4月1日現在

団地名	建設年度	構造	間取り	管理戸数	家賃(円)	
三吉町 アパート	1号棟	S50	中層耐火4階	6+6+4.5+DK	24戸	11,600~17,300
	2号棟	S51	〃	〃	24戸	12,600~18,800
	3号棟	S52	〃	〃	24戸	13,100~19,500
若葉東 アパート	1号棟	S55	〃	8+6+4.5+DK	24戸	16,100~24,000
	2号棟	S56	〃	8+6+6+DK	24戸	16,300~24,200
	3号A	S57	〃	8+4.5+LDK	4戸	14,800~22,100
	〃B	〃	〃	6+6+4.5+DK	8戸	15,200~22,600
	〃C	〃	〃	8+6+4.5+DK	4戸	16,600~24,800
計				136戸		

注：家賃は、入居者の収入によって異なる。

資料：最上総合支庁建設部建築課

【公営住宅の分布状況】

県営	2団地	136戸
新庄市	5団地	362戸
金山町	7団地	77戸
最上町	13団地	93戸
舟形町	2団地	57戸
真室川町	5団地	64戸
大蔵村	—	—
鮭川村	1団地	15戸
戸沢村	5団地	49戸
合計	40団地	853戸

【凡例】

記号	事業主体
□	市町村営
○	県営

資料：最上総合支庁建設部建築課

